

学習の指針（シラバス）

教科名	家庭科	実施学年	1年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得できる
- ・家庭の機能について、理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくできる（特に衣・住生活・家族の学習を通して）

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●家庭分野ガイダンス	・小学校の学習をふり返り，3学年間の学習に関心を持ち，見通しをたて意欲的に学ぶ。	1時間	・ふり返りシート
	5	・衣服の補修（復習）とアイロンかけ	・衣服の材料や状態に応じた選択や補修ができる。（まつり縫い）	1時間	・まつり縫い
		●家庭のはたらき	・いろいろな家庭の役割を理解する。	1時間	・幼いころのふり返りシート
	6	●わたしたちの成長	・自分たちの成長について，色々な人に聞き，まとめることができる。	4時間	・手作りおもちゃ
第2学期	7	●幼児の発達を知り，家族の役割や地域とのかかわり	・幼児の言動や活動，周囲の大人とのかかわりに注目して観察し，特徴について気づくことができる。	4時間	・定期テスト
		●幼児との関わり方	・幼児に関心をもって，安全や環境に配慮しながら，おもちゃ製作する。	2時間	
	9	●これからの家族関係	・製作したおもちゃを利用し課題をもって，幼児と積極的にかかわる。 ・自分の家庭での役割を考え，よりよい家族関係を築こうとする。	6時間	・住居プリント
第2学期	9	●安全な住まい ・住まいの安全対策 ・災害への備え	・家庭で行っている安全対策や災害対策を話し合い，自分の家庭の対策について考える。	6時間	・制服手入れのプリント
	10	●快適な住まい	・教室にあるものを利用し，班ごとで実験させ対策を考える。	2時間	
	11	・室内の空気調節 ・住まいと音 ●制服の手入れや補修	・制服のブラシがけやしみ抜きの方などを学ぶ。 ・ミシンの使い方をふり返る。	6時間	・作品
第2学期	11	●生活を豊かにする物をつくる	・直線縫いとカーブ縫いで基本作品（鍋つかみ）を完成できる。	6時間	・定期テスト
	12	●飾りつけの基本	・アイロンフェルトによる飾りつけができる。		

第3学期	1	●布を用いた応用作品を作製する ・作品の自己評価、相互評価	・自分の生活をふり返り，生活にいかせる弁当袋等の製作ができる。 ・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え，製作計画や方法について，自分の生活にいかせるように工夫できる。	8時間	・作品 ・作品カード
	2				
	3	●1年間のふり返り	・1年間のふり返りができる。		・ふり返りシート

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心を持ち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価から評価します。	・学習プリント ・学習の取り組み ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、家庭での実践、学習プリント、自己評価から評価します	・作品 ・学習プリント ・自己評価
技能・知識理解	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、制作した作品の技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価から評価します。	・作品の内容 ・定期テスト ・学習プリント ・自己評価

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・長期休業中には、簡単な課題を出します。家庭でできることを増やしていきましょう。
- ・定期テスト前には予想問題が配布されます。少なくとも、2回は解くようにしてください。
- ・ボタンつけやまつり縫いなど家庭でできることは、自分でどんどんやってみましょう。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 家庭分野（開隆堂出版）
- ・副教材：作品用キルト布・フェルト
- ・その他：